

## 中国における建設事業の分類と実施手順について

足利工業大学大学院 学生員 ○崔 金栄

足利工業大学 正員 藤島博英

足利工業大学 正員 小林康昭

### 1. はじめに

現在の中国では、西部大開発、南水北調工事（水を南部豊水地方から北部渇水地方へ送る）都市インフラ整備、農村のまちづくりなどによって建設産業が急速に発展している。1996～2000年では、建設事業の投資はGDPの6.65%を占める。予測によると、2001～2005年では、建設事業の投資額は2000年の52兆5千億円から2005年には76兆8千億円になる。建設投資額の増大により建設産業は国の中核産業になる。一方、中国はWTOの加盟に伴い、建設市場は開放に向かっている。このような状況により、日本をはじめ諸外国では中国の建設市場への関心が増えている。中国の建設業の現状を適格に把握し、かつ、理解を早める必要があると考えられる。

本研究は中国での建設事業を研究対象とし、投資の所属、事業分類、画分、事業実施の手順などについて、概略的に考察を行ったものである。

### 2. 建設投資

中国は社会主義の公有制度のため、従来、個人や外国からの投資はあったが、大部分の建設投資は政府あるいは国営企業が行っている。大多数の建設事業は日本と同様に政府の各部門（水電、交通、エネルギー源、工業、郵便）に所属している。事業のレベルは国家投資事業（中央政府投資）地方投資事業、企業投資事業となっている。国家投資事業は、国務院から授権された法人地位がある国家投資主体（各レベルの投資会社）が国家を代表して事業を行い、投資リスクも引き受ける。投資活動主体によって次の3種類の建設事業が見られる。

経営利益の追求を目的とする競争性投資事業は、企業法人が投資主体として、市場（金融市場、株式市場）から投資資金を得て、事業を行う。現在、政府はこの種類の事業へ資金を投入しない。建設事業の決定権や投資の対応は政府から企業自体へ移転した。

基礎性投資事業は、経営的な利益が低いが、社会的に実益が高い事業を示す。主にエネルギー源、交通、郵便など部門の建設事業が含まれる。この種類の事業は中央政府が投資する。政策を決定してから、国債、鉄道建設債券、大型エネルギー施設建設債券などを発行し、投資資金を集める。同時に、事業を行う地方の地方政府も一部の投資を分担させられる。民間、企業、外資の投資も利用される。

公益性投資事業は主に政府機関、教育文化、医療、環境等の方面の事業である。この種類の事業は中央あるいは地方政府の資金で行う。

### 3. 建設事業の分類

中国では、政府が建設事業を管理するために、建設事業がいくつかの種類に分類されている。現在も建設事業に関する政策を決定する時、昔からの分類方法を延用する。種類が異なる事業毎に政策が異なっている。事業の性質、分類の基準により、表1のように分類されている。中国の建設事業の分類を理解することは非常に重要である。中国政府は国民経済を全体的に調整するため建設投資の総量と規模を制限している。生産性質と建設規模による分類は事業創立に関する政策、制度に利用されている。建

表-1 建設事業の分類

分類の方式	分類の内容
1. 生産性質	新建、拡張、改建、遷建、重建、更新改造事業
2. 建設規模	工業事業（生産能力、総投資額により） 大型、中型、小型 非工業事業（経済利益、総投資額により） 大中型、小型
3. 建設段階	予備、新開工、施工、続建、停建
4. 建設用途	生産性事業 工業事業、交通事業、能源事業、農業事業 非生産性事業 経営性事業、非経営性事業
5. 資金源	国家予算支出金、国家借金、銀行借金、企業聯合投資、企業自己投資、利用外資、外資

キーワード：中国、建設事業、分類、手順

連絡先：〒326-8558 栃木県足利市大前町268-1 電話 2084-62-0605 Fax 0284-64-1601

設段階による分類は工事管理の面で利用されている。建設用途による分類は建設投資の分布を制御する面で利用されている。

4. 建設事業の画分

中国では、建設事業をいくつかの独立部分または段階に分けて工事管理及び積算を行っている。一般的には表 2 のように分けられる。

単項目工事は、独立設計図書があり、工事原価を積算出来る独立存在の工事を示す。建設事業はいくつかの単項目工事を含めて構成される場合や、一つの単項目工事で構成される場合もある。単項目工事は複雑な総合体であり、工事原価計算は複雑化している。そのため、いくつかの単位工事に分け、積算を行っている。単位工事は単独の設計図書があるが、完成後には独立存在の意味はない。分部工事は、単位工事を各部位、使用の材料、作業と設備の種別などによりもっと細分化されるものである。同じ分部工事内、構造規格、使用材料規格、施工方法によって、同じ計量単位を完成するのに、必要な労務、材料、機械使用の価格が異なるので、単位工事を更に細かい分項目工事に分ける。

5. 建設事業の実施

中国の建設事業は、図 1 のようなフローで行う。事業決定までの手順は、建設者が事業提案を作成し、事業規模によって各レベルの計画管理機関へ申請する。申請が批准されないと事業は取り消される。批准されても事業決定ではなく、次の実現検討を許可するだけである。事業は、実現検討書と計画任務書を審査し、事業評価を行って決定される。実現検討は、国の計画部門、事業建設者を管理する部門あるいは建設者が行う。建設者の能力が不足する場合は、専門機構への委託か、公告によって発注する。

事業決定後の方法は、個別の段階での具体的な内容に異なる部分を除き、日本と大差がない。

6. おわり

現在、WTOの加盟に応じて、中国の建設業では急激な改革が進んでいる。建設事業の審査批准制度は、大型事業と主要事業に適用され、一般の中、小型事業は、建設者自身が決定している。建設投資は多種方式共存の方式へ変革の途上にある。事業法人責任制度も推進されている。

表-2 建設事業の画分

画分段階	実例
建設事業	工場、学校、病院、道路、ダム、
単項目工事	工場本体、倉庫、事務所、食堂、
単位工事	一般土建造造物、電気照明工事、
分部工事	鉄筋コンクリート工事、土石工事、
分項目工事	鉄筋コンクリート梁、柱、壁、床、

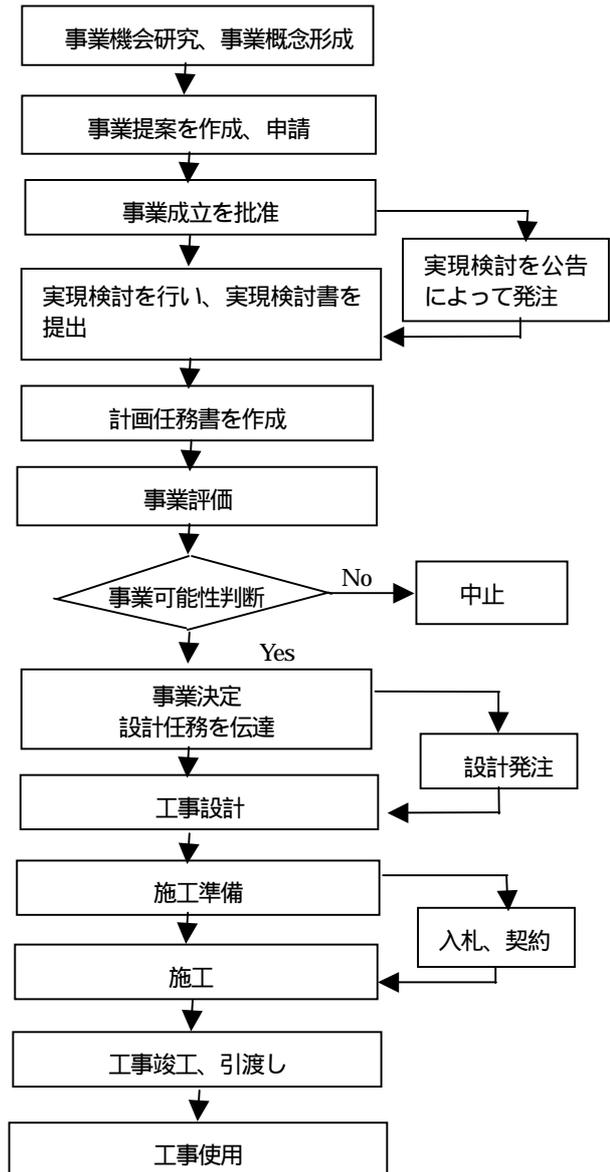


図-1 建設事業実施の全体フロー

【参考文献】

- 1) 魏 連雨, 「建設項目管理」, 中国建材工業出版社, 2000年7月
- 2) 「建築施工手冊第3版」, 中国建築工業出版社